



アジア最大級の環境総合展開催、全国・世界から出展社622社・2271小間が集結!

環境ビジネスの展開

第27回開催

2018 NEW 環境展

CO₂削減と新エネ・省エネビジネスの推進

第10回開催

2018 地球温暖化防止展

1. AI・IoTなどデジタル技術とリサイクル技術の融合、近未来の産業資源循環のビジョンを示します。
2. 展示場内に中間処理場が登場。産業廃棄物を破碎・選別する大型プラントを建設します。
3. 猛暑対策コーナーが人気、空調付き作業服や、誰でも手軽に貼れる遮熱シートの効果を体感できます。

環境関連専門紙誌を発行する日報ビジネス(株)は、5月22日(火)～25日(金)の4日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)東ホールで「2018NEW環境展」「2018地球温暖化防止展」を開催します。つきましては、是非取材に来場いただきたく存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

・前回(2017年)来場者数:158,197人

【過去の放映・掲載実績】

NHK(ニュースシブ5時)、日本テレビ(news every)、TBSテレビ(情報7daysニュースキャスター、あさチャン!、Nスタ)、テレビ東京(ワールドビジネスサテライト)、TOKYO MIX(TOKYO MX NEWS)等、テレビ、ラジオ、インターネット、一般紙・誌、多数の来場をいただきました。

【今回の宣伝計画】

TV CM

交通広告 車内中吊り広告:JR北海道、札幌市営地下鉄、JR東日本(仙台エリア・東京エリア)、東京メトロ、JR東海(静岡エリア)、名古屋市営地下鉄、大阪メトロ、JR西日本(関西エリア・北陸エリア・岡山エリア・広島エリア)、JR四国、福岡市営地下鉄、沖縄ゆいレール

駅貼り広告 JR東日本 東京駅、大阪メトロ 本町駅

新聞広告 日本経済新聞、日経産業新聞、循環経済新聞、包装タイムス 他

インターネット広告配信(国内・海外) Yahoo、Google、Facebook

【お問い合わせ先】

2018NEW環境展 2018地球温暖化防止展



名 称 日報ビジネス株式会社

住 所 東京都千代田区神田三崎町3-1-5 神田三崎町ビル 担当者 西村潤一

T E L 03-3262-3562 携 帯 080-3112-9849 E-mail nishimura@nippo-biz.co.jp

発行媒体 週刊循環経済新聞/月刊廃棄物/隔月刊イー・コンテクチャー/隔月刊地球温暖化/産廃NEXT

※前回展示会写真の画像をご入用の際は、ご連絡ください。

名 称	2018NEW環境展 (N-EXPO 2018)
テ ー マ	環境ビジネスの展開
目 的	企業の社会的責任が問われる時代に入り、環境との共生を無視しては企業の存続すら危ぶまれる時代になりました。また持続可能な循環型社会の構築にむけ環境汚染問題や地球温暖化問題の解決は避けて通れない課題です。とりわけ資源有効利用や多様な新エネルギーの活用は、環境対策にとり最重要の取り組みです。そうした中、各種課題に対応する様々な環境技術・サービスを一堂に展示情報発信する事により環境保全への啓発を行い、国民生活の安定と環境関連産業の発展を目的とします。
主 催	日報ビジネス株式会社 (週刊循環経済新聞/月刊廃棄物/隔月刊イー・コンテクチャー/隔月刊地球温暖化/産廃NEXT)
後 援	環境省、国土交通省、農林水産省、経済産業省、文部科学省、東京都、日本商工会議所、東京商工会議所、一般社団法人廃棄物資源循環学会、在日ドイツ商工会議所、KOTRA (大韓貿易投資振興公社)、TAITRA (台湾貿易センター)
協 賛	アルミ缶リサイクル協会、飲料用紙容器リサイクル協議会、一般社団法人エコステージ協会、塩ビ工業・環境協会、一般財団法人家電製品協会、紙製容器包装リサイクル推進協議会、ガラスびん3R促進協議会、公益社団法人環境生活文化機構、公益財団法人北九州産業学術推進機構、建設副産物リサイクル広報推進会議、公益社団法人国土緑化推進機構、一般社団法人産業環境管理協会、公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団、一般社団法人JBRC、特定非営利活動法人持続可能な社会をつくる元気ネット、一般社団法人住宅生産団体連合会、公益社団法人食品容器環境美化協会、一般財団法人新エネルギー財団、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、スチール缶リサイクル協会、公益社団法人全国解体工事業団体連合会、全国環境整備事業協同組合連合会、公益社団法人全国産業廃棄物連合会、全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会、公益社団法人全国都市清掃会議、特定非営利活動法人全国廃棄物教育センター連合会、特定非営利活動法人全国木材資源リサイクル協会連合会、特定非営利活動法人全日本自動車リサイクル事業連合、全日本プラスチックリサイクル工業会、段ボールリサイクル協議会、公益財団法人地球環境産業技術研究機構、一般社団法人東京都産業廃棄物協会、一般社団法人土壌環境センター、特定非営利活動法人生ごみリサイクル全国ネットワーク、一般社団法人日本RPF工業会、一般社団法人日本汚染土壌処理業協会、一般社団法人日本ガス協会、一般社団法人日本環境衛生施設工業会、一般財団法人日本環境衛生センター、公益財団法人日本環境協会、一般社団法人日本環境保全協会、一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会、一般社団法人日本建設機械工業会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人日本小形風力発電協会、日本再生資源事業協同組合連合会、一般社団法人日本産業機械工業会、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター、公益財団法人日本生態系協会、一般社団法人日本鉄リサイクル工業会、一般社団法人日本廃棄物コンサルタント協会、一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会、一般社団法人日本風力発電協会、一般社団法人日本有機資源協会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、公益財団法人廃棄物・3R研究財団、公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター、一般社団法人プラスチック循環利用協会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、PETボトルリサイクル推進協議会、有害・医療廃棄物研究会
会 期	2018年5月22日(火)～25日(金)4日間
時 間	午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)
会 場	東京ビッグサイト 東展示棟、屋外会場(東京都江東区有明3-10-1)
展示規模	510社 2,052小間(622社、2,271小間 ^(※1))
動員計画	16万人 ^(※1)
入 場 料	1,000円(税込) ^(※1)

(※1) 地球温暖化防止展と合わせて

- 名 称 2018地球温暖化防止展 (GWPE 2018)
- テ ー マ CO₂削減と新エネ・省エネビジネスの推進
- 目 的 企業の社会的責任が問われる時代に入り、環境との共生を無視しては企業の存続すら危ぶまれる時代になりました。また持続可能な低炭素社会の構築に向け、地球温暖化問題やエネルギー問題の解決は避けて通れない課題です。とりわけ省エネルギーや再生可能エネルギー、ヒートアイランド技術、CO₂排出削減技術の活用は温暖化対策にとり最重要の取り組みです。そうした中、各種課題に対応する様々な環境技術・サービスを一堂に展示情報発信する事により環境保全啓発を行い、国民生活の安定と環境・温暖化防止関連産業の発展を目的とします。
- 主 催 日報ビジネス株式会社
(週刊循環経済新聞/月刊廃棄物/隔月刊イー・コンテクチャー/隔月刊地球温暖化/産廃NEXT)
- 後 援 環境省、経済産業省、国土交通省、農林水産省、文部科学省、東京都、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(全国地球温暖化防止活動推進センター)、在日ドイツ商工会議所、KOTRA(大韓貿易投資振興公社)、TAITRA(台湾貿易センター)
- 協 賛 特定非営利活動法人雨水市民の会、公益社団法人国土緑化推進機構、一般社団法人産業環境管理協会、一般社団法人住宅生産団体連合会、一般財団法人新エネルギー財団、全国小水力利用推進協議会、一般社団法人太陽光発電協会、公益財団法人地球環境産業技術研究機構、公益財団法人地球環境戦略研究機関、特定非営利活動法人地中熱利用促進協会、一般社団法人日本エネルギー学会、一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人日本小形風力発電協会、公益財団法人日本生態系協会、一般社団法人日本太陽光メンテナンス協会、一般社団法人日本風力発電協会、一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会
- 会 期 2018年5月22日(火)～25日(金)4日間
- 時 間 午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)
- 会 場 東京ビッグサイト 東展示棟、屋外会場(東京都江東区有明3-10-1)
- 展示規模 112社 219小間(622社、2,271小間^(※2))
- 動員計画 16万人^(※2)
- 入 場 料 1,000円(税込)^(※2)
- (※2) NEW環境展と合わせて



AI搭載選別機、巨大重機型ロボットから 最新の環境・リサイクル機器まで日本・欧米・アジアの技術一同に! ピンチをチャンスに! 来て見て実感“環境負荷低減”×“省人”×“省コスト”

ピックアップ
1

ここまで来た! AI、ロボット、IoT導入

“機械が自ら学びながら廃棄物を選別し、ロボットが過酷な現場で作業する!”

AI (人工知能) を搭載した選別機がベルトコンベア上に流れる混合廃棄物を学習しながら選別する米国の技術が日本初上陸、日本メーカーも最新選別技術を紹介します。さらに、建物解体など過酷な



現場で、人に替わって解砕などの作業を行う巨大重機型ロボットも登場、展示ブースではバーチャルリアリティ (VR) 体験ができます。

最新のIoT (インターネット・オブ・シングス) によるモニタリングシステムを導入した高機能リサイクルプラントもお目見えします。

ピックアップ
2

国際環境規制を乗り越えろ! 中国の再生資源輸入規制などを商機に転換

“中国による再生資源輸入規制の抜本的強化を契機に新たなビジネスモデルをつくる!”

日本や欧州から台湾、中国まで最新のプラスチックスクラップなど再生資源のリサイクル機器などが勢ぞろいします。異物を徹底的に除去する装置、樹脂にまで分ける光学選別、ボトル to ボトルなどの循環技術、高品質ペレット製造装置が並びます。



ピックアップ
3

東京オリンピック・パラリンピックをバネに! 都市再開発と地域創生の技術ずらり

“再開発の要となる建設・解体機械 堅牢強固、早い、静か、大気汚染対策は当たり前!”

建物密集地域で活躍できる省エネ・高効率で新たな排ガス基準をクリアした重機、何でも切断・解砕できる堅牢なアタッチメントもずらり。深刻化する空き家対策でも活躍します。



木質バイオマスや竹などの地域資源活用や太陽光発電パネルのリサイクルの新技術も揃います。

揺れ動く世界経済と国際政治でも、環境・リサイクル技術の流れは加速する!



米国トランプ政権の離脱表明で、気候変動枠組条約があらためて注目されました。シェールオイルやシェールガスの開発で化石燃料の採掘年限は伸びましたが、成長アジアや途上国での大気汚染や水質汚濁、廃棄物などの問題

はむしろ深刻化しています。日本や欧米、新興アジアの環境技術が凌ぎを削る時代を実感できる場に是非お越し下さい。

詳しくはこちら!!

2018NEW環境展



<http://www.nippo.co.jp/n-expo018/>

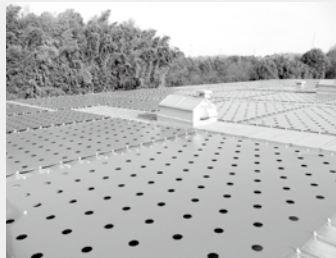
「脱炭素化」も足元の一歩から コスト削減効果の高い省エネと主流化する再エネ活用へ

ピックアップ
1

オリ・パラ直前! 猛暑対策が最盛期

遮熱材、大型ファン、機能性衣料、屋根散水システムなど

「猛暑日」。1日の最高気温が35℃を超える気温の高い状態を、気象庁が定義したのは11年前。1990年代以降、地球温暖化や都市化の影響で、気温の高い日が急増したことに呼応したものだといわれています。



真夏に開催される2020東京オリンピック・パラリンピックの開催を前に、「暑さ」対策製

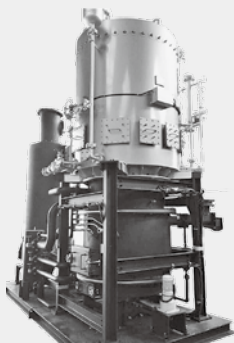


品・サービスは遮熱材、大型ファン、機能性衣料など、目的に応じて大小さまざまですが、輻射熱の反射や熱伝導、気化熱の利用など、シンプルでありながら、いずれも効果が目に見えて高いことが特徴です。今後、温暖化の影響に対応する身近な「適応対策」として定着が見込まれています。

ピックアップ
2

バイオマスは小規模に商機あり?!

木質バイオマス、バイオガス、バイオディーゼル



新エネ・再エネ推進エリアでひととき目立つのが、バイオマス関連機器・システムです。その多くがオンサイト型の小型タイプ。原料であるバイオマスを電気や燃料に変え、持続的な地域のエネルギー源として力を発揮してくれます。またVPP(*)などへの採用も期待できます。

ピックアップ
3

一挙両得の省エネ術に注目!

小型熱電併給ボイラー、熱回収装置など



エネルギーの利用効率を高め消費量を削減する「省エネ」は単純ではありません。未利用だった資源や熱を回収して使いきってしまうという“一挙両得省エネ”! RPFやフラフなどの資源を利用した熱電併給、温水からの熱回収、排気熱の再利用(潜熱回収)などバラエティも豊かです。

(※) VPPとは、各地に分散している再エネをはじめ蓄電池などをIoTを活用して統合制御し、あたかも一つの発電所のように機能させること。

第10回の記念開催! 地球温暖化展の魅力とは

2008年の北海道洞爺湖サミットで、初めて宣言されたのが「低炭素社会」というキーワードでした。翌年2009年に初開催を迎えた「地球温暖化防止展」は本年、第10回目の開催を迎えます。この間、世界はさらに「脱炭素」という目標に向けて動き出しています。

地球温暖化防止展も、その様相を少しずつ変化させてきま

した。「今」そして「未来」の社会に必要とされる持続可能な温暖化対策技術を間近に感じられることが最大の魅力です。

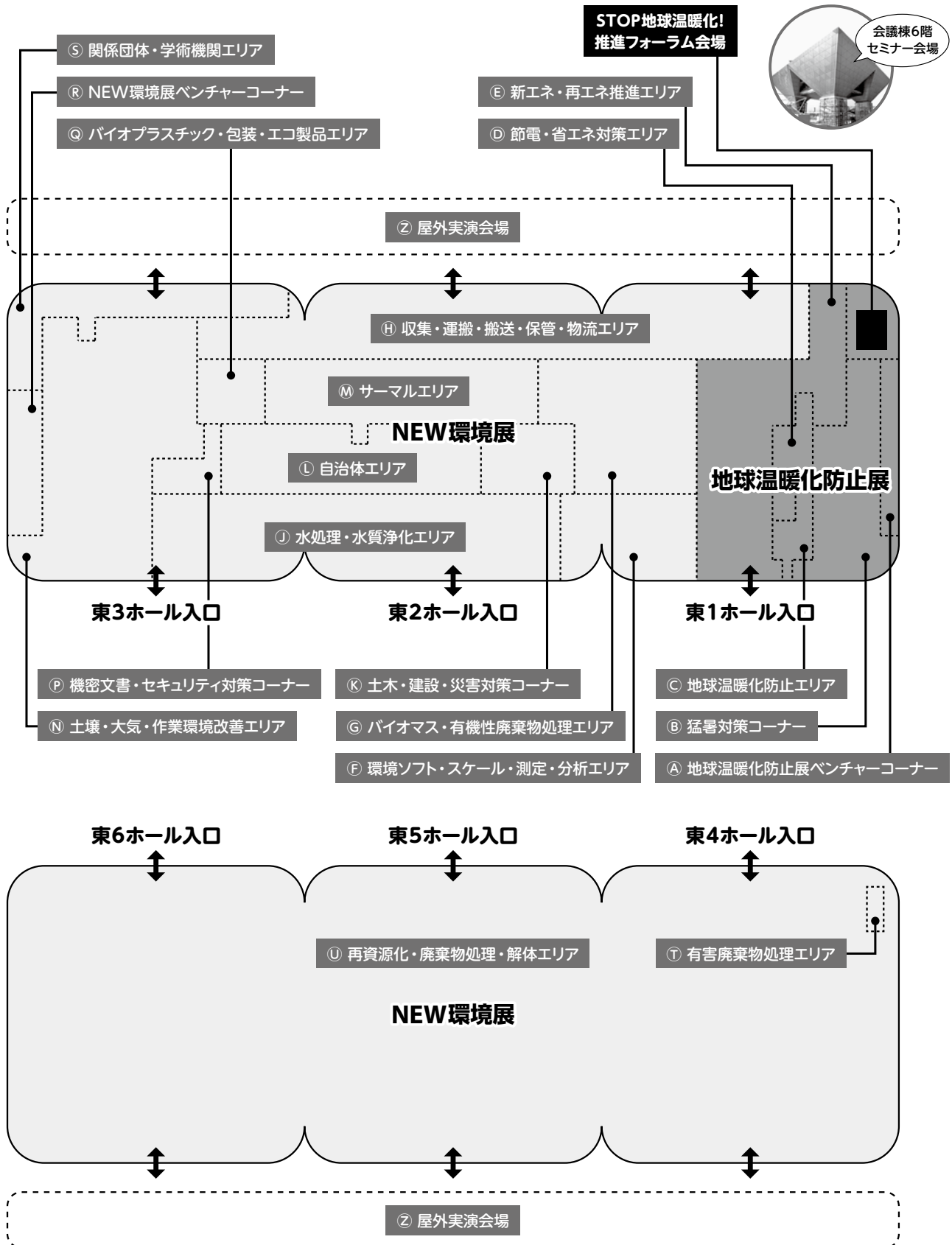
詳しくはこちら!!

2018地球温暖化防止展



<http://www.nippo.co.jp/stop-ondanka18/>

展示エリア構成



※2018NEW環境展記念セミナーは会議棟6階で開催

併催セミナー・フォーラムのご案内

News Release

■ 2018NEW環境展 記念セミナー

会場: 東京ビッグサイト 会議棟6階

※参加ご希望の方は直接会場までお越しください。ただし定員となり次第締切とします。

	日時	講座番号	テーマ	受講料 (税込) お一人様
5月22日(木)	13:30~16:30	講座1	これからの木質バイオマス熱供給・熱電併給のビジネスモデル	10,000円
	13:30~16:30	講座2	新時代を迎える処理困難物 ~PVパネル・大型蓄電池・炭素繊維強化樹脂~	10,000円
5月23日(金)	10:00~16:30	講座3	中国輸入規制と廃プラリサイクルの今後 ~再生利用からエネルギー回収まで~	15,000円
	10:00~16:30	講座4	【初級編】高齢化時代の遺品整理・お片付けビジネス	15,000円
5月24日(土)	10:00~16:30	講座5	安定型処分場の枯渇と今後の建廃処理・リサイクルの展望	15,000円
	10:00~16:30	講座6	食品リサイクル最前線2018 ~バイオガス化と堆肥化・消化液の利用促進~	10,000円
5月25日(日)	10:00~16:10	講座7	聞けばわかる! 廃棄物処理法の解説 ~最新動向から違反事例、罰則まで~	15,000円
	10:00~16:30	講座8	廃棄物分野へのAI・IoT導入と省人・省力・技術革新	15,000円

<http://www.nippo.co.jp/n-expo018/>

■ 2018 STOP地球温暖化! 推進フォーラム

会場: 「2018地球温暖化防止展」東1展示ホール内 (小間番号 B127)

※プログラムは2018年4月13日現在の予定です。追加・変更になる場合があります。

※参加ご希望の方は直接会場までお越しください。ただし定員となり次第締切とします。

※参加費はセッションごとに、当日現地でのお支払いをお願いします。

	日時	セッション	テーマ	参加費 (資料代・税込) お一人様
5月22日(木)	13:00~14:00	1	「パリ協定 (2℃目標)・SDGsに沿った脱炭素社会づくりの挑戦と関連政策」	1,000円
	15:00~16:30	2	「太陽光発電事業 ~改正FITの現況と2019年問題」	1,500円
5月23日(金)	10:30~11:30	3	「省エネ政策の方向性と中小企業の省エネ推進」	1,000円
	13:00~14:00	4	「地中熱利用の省エネ効果と導入事例」	1,000円
	15:00~16:30	5	「パリ協定の実現へ 国際動向と企業の新常識」	1,500円
5月24日(土)	13:00~14:00	6	「小水力発電の開発動向とビジネスチャンス」	1,000円
	15:00~16:30	7	「木質バイオマス利活用最前線 ~入札制度のゆくえ」	2,000円
5月25日(日)	10:30~11:30	8	「再生可能エネルギーをめぐる最新動向」	1,000円
	13:00~14:00	9	「系統制約の緩和措置、再エネの大量導入に向けて」	1,000円

同会場で行われるその他イベント

5月24日(土)	10:30~11:30	「香港からアジアへ ~スマートシティ・香港の最新情報とエコビジネスの可能性」 【主催】香港貿易発展局 【定員】60名 (事前登録制、先着順) 【問い合わせ】香港貿易発展局 東京事務所 Tel.03-5210-7150
----------	-------------	--

<http://www.nippo.co.jp/stop-ondanka18/>



ecoたろうくんがLINE@ & Facebookはじめました！
「友だち」になると、展示会・記念セミナーの
お得な情報をいち早くお届け！！



ID: @eco-tarokun



<https://www.facebook.com/nippo.biz/>

主催：  **日報ビジネス** 株式会社

週刊循環経済新聞 / 月刊廃棄物 / 隔月刊イー・コンテクチャー / 隔月刊地球温暖化 / 産廃NEXT

東京 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-1-5 神田三崎町ビル Tel. 03 (3262) 3562 Fax. 03 (5214) 6633
大阪 〒541-0054 大阪市中央区南本町 1-5-11 カセンビル Tel. 06 (6265) 9106 Fax. 06 (6265) 9105

<http://www.nippo.co.jp/>